

世界の子どもの本展

IBBY がすすめる世界の児童書 213 冊

期間

2017 年 3 月 23 日(木)～3 月 31 日(金)

場所

会場：豊田市こども図書館

入場
無料

開館時間 10:00～16:00 ※月・火は休館

愛知県豊田市高橋町 3-100-1 ☎0565-88-1322

世界の子どもの本展
講演会 共通テーマ

「子どもの本と世界」

◆ 講演会

「絵本から見える景色」

講師 小林 豊さん

日時／2017 年 3 月 26 日(日)

14:00～16:00 (受付 13:30 より)

場所／高橋交流館多目的ホール

対象／小学生から大人まで 100 名

申込／豊田市こども図書館 2/23 より整理券配布
(電話予約は不可)

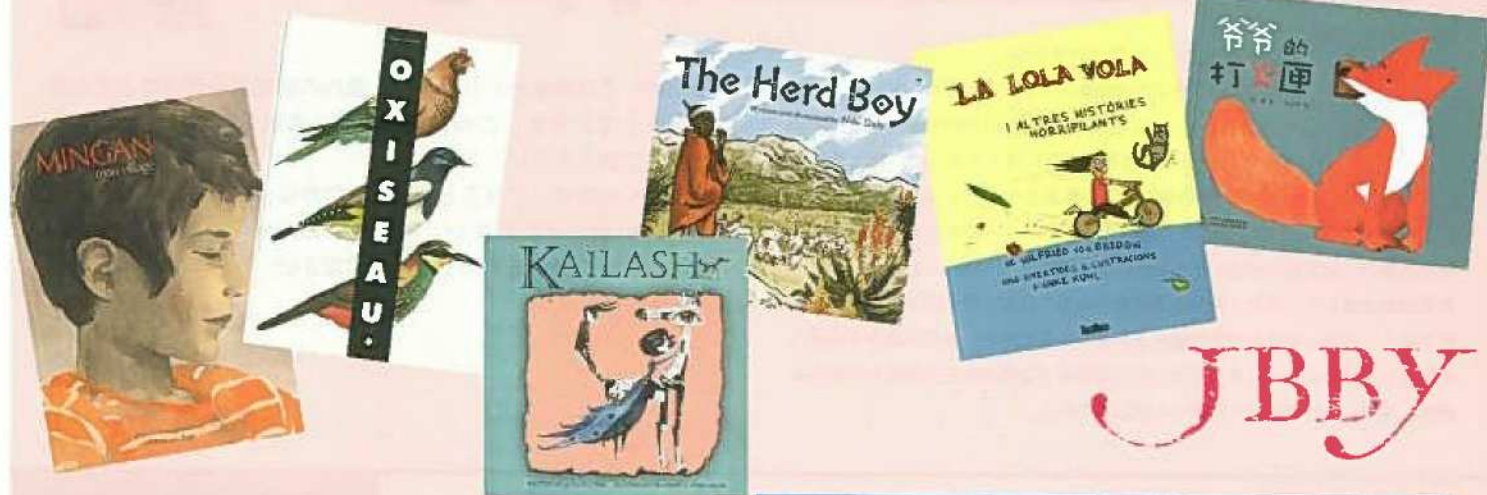
問合せ／JBBY または豊田市こども図書館まで

講師紹介

○小林 豊 (こばやし ゆたか)

1946 年、東京生まれ。日本画家・絵本作家。

『せかいいちうつくしいぼくの村』で、1998 年 IBBY オナーリストに選出される。同作で、第 43 回産経児童出版文化賞フジテレビ賞受賞。『クラウディアのいのり』(文：村尾靖子／共にポプラ社)で、第 14 回日本絵本賞読書賞受賞。主な作品に『ぼくの村にサーカスがきた』『なぜ戦争はおわらないのかーぼくがアフガニスタンでみたことー』(ポプラ社)『ぼくは弟と歩いた』(岩崎書店)『長崎ものがたり お船が出る日』(岩波書店)など。JBBY 理事。



左から：『ミンガン、ぼくの村』(カナダ)、『鳥のなかま』(ベルギー)、『カイルッシュ』(マレーシア)、『家畜の世話をする少年』(南アフリカ共和国)、『自転車乗りローラと恐ろしいはなし』(スペイン・カタルーニャ語)、『おじいさんの火口箱』(中国)

—— 展示作品より

●主催：一般社団法人日本国際児童図書評議会 (JBBY)

問合せ先 TEL / 03-5228-0051

- 共催：豊田市こども図書館ボランティア ●後援：豊田市教育委員会
- 独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」助成活動
活動名「世界の子どもの本展 2016」

展示 作品

IBBY がすすめる世界の児童書 —— 2014 年国際アンデルセン賞と IBBY オナーリスト

国際アンデルセン賞



国際アンデルセン賞 (Hans Christian Andersen Awards) は、1953 年に IBBY が創設した、世界ではじめての子ども本の国際賞です。2 年に一度、子ども本の世界に顕著な貢献をした作家と画家の全業績に対して贈られます。その選考水準の高さから「小さなノーベル賞」とも呼ばれ、世界中の児童文学の質の向上に、計り知れない影響を与えてきました。第 1 回目の受賞者は、イギリスのエリナー・ファージョンでした。(当初は、画家部門がまだありませんでした。) 日本からは、これまでに、赤羽末吉 (1980 年)、安野光雅 (1984 年)、まど・みちお (1994 年) が受賞しています。

2014 年は 34 カ国から、日本の上橋菜穂子、片山健を含む作家賞 29 名・画家賞 31 名の候補が推薦され、作家賞に日本の上橋菜穂子、画家賞にブラジルのホジェル・メロが選ばれました。選考は、世界 10 カ国から選ばれた選考委員が行い、選考委員長は、スペインのマリア・ヘスス・ヒルが務めました。



● 上橋菜穂子 (日本)

1962 年、東京生まれ。物語によって誰もが深い愛情を共有できると確信し、文化人類学の視点から独自のファンタジー小説を書き続けている。作品は中世日本を基盤とした大まかな世界を構築しているが、独自性が非常に高い。日常のスケールを越えた世界を拠点とした、異なる複数の世界を創案する得意な才能を持つ作品からは、寛容と、自然、知恵を有した生き物全てに対する畏敬の念が伝わる。ファンタジー作家として、読者に境界のない新たな想像の世界を生み出したが、あくまで現実世界と切り離されておらず、人間相互の関わり方を多様に考察しながら、物語世界を構築している。



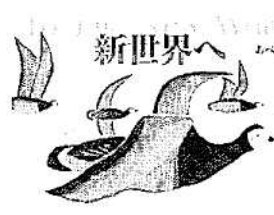
● ホジェル・メロ (ブラジル)

1965 年、ブラジルの首都ブラジリア生まれ。100 冊以上のイラストレーションを描き、うち 22 冊は文章も手がけている。民間伝承への情熱が作品に深く反映され、旅と発見がメロの芸術表現の重要な要素となっている。メロは子どもに内在する文化的現象やイメージへの気づき、読み解く能力を信託し、絵を見た子どもたちが自身の想像力によって物語へと導く。色彩豊かな絵本を通して、子どもたちは自分の文化と、世界の文化の両方の理解を深めていく。メロは子どもたちが様々な生き方に身を置き、他国の文化や伝統への経緯と寛容を促している。ブラジルのみならず世界の文化や風習への関心を読者と共有し、時空を超えた旅へと読み手を誘う。

IBBY オナーリスト

国際アンデルセン賞の創設とともに、世界の優れた児童書に「優良賞 (Hans Christian Andersen, Honour List)」が授与されることになりました。これが現在の「IBBY オナーリスト」の前身です。当初は、国際選考委員の審査を経た作品だけに授与されましたが、やがて、各国支部が推薦する作品すべてをオナーリストと称するようになり、英文名称も、1980 年に、「IBBY Honour List」に変更されました。1974 年に、「文学作品」と「イラストレーション作品」の 2 部門に分けられ、さらに 1978 年には、すぐれた翻訳者の全業績を賞する「翻訳作品」部門が加わり、今の 3 部門のかたちになりました。現在は、IBBY 各国支部が、2 年に一度、過去 3 年以内に自国で出版された児童書のうち、それぞれの国の特徴をもつ最も優れた作品を選んで推薦します。複数の言語をもつ国は、「文学作品」と「翻訳作品」に各 3 冊まであげることができます。これらの図書は、各国が世界に広く紹介したい優良作品としてリストにまとめられ、世界に発信されます。

2014 年は、52 の国と地域から 39 言語 150 冊が選ばれました。日本からは、文学作品に『鉄のしづきがはねる』(まはら三桃作 / 講談社)、イラストレーション作品に『新世界』(あべ弘士作 / 偕成社)、翻訳作品に『ツバメ号とアマゾン号』(ランサム・サーガ 1) (神宮輝夫訳 / アーサー・ランサム作 / 岩波書店) が紹介されました。(写真左から)



● JBBY では原書を取り寄せて、国内の図書館や学校などで巡回展示をしています。この機会に各国の素晴らしい児童書を手にとってご覧ください。

● 2014 年のブックリストをご希望の方は、下記 JBBY 事務局までお問い合わせください。実費にてお分けいたします。なお、数に限りがございますのでご了承ください。

IBBY と JBBY

IBBY (国際児童図書評議会) は、1953 年、第二次世界大戦後のドイツで、子ども本を通して国際理解を広めようとする人々によって創設されました。現在は 70 以上の国と地域が加盟し、子どもと本を結ぶ活動に挑む人々の国際ネットワークになっています。「国際アンデルセン賞」「IBBY 朝日国際児童図書普及賞」「IBBY オナーリスト」「IBBY 障害児図書資料センター」などの事業を通じて、子ども本の情報を発信しています。また、各国支部が協力して、支援を必要とする子どもたちに本が届くよう活動しています。IBBY の日本支部である JBBY (日本国際児童図書評議会) は、子どもたちの未来のためにサポーターを募集しています。

● JBBY 事務局

〒162-0828
東京都新宿区袋町 6
TEL 03-5228-0051
FAX 03-5228-0053
<http://www.jbby.org/>